組合ニュース

第　１　５　１　８　４　号
２０１９年４月１日（月）
日本製鉄和歌山労働組合
組　織　教　宣　部

WAKAYAMA WORKERS' UNION

組　合　Ｈ　Ｐ　　http://nssmwu.jp/
代表内線番号　　和歌山地区(本部)　(54)-3590　　堺地区　652990　　海南地区　(54)-5555

４月１日（月）より新日鐵住金和歌山労働組合から 日本製鉄和歌山労働組合へ！！

昨年 5 月 16 日に、2019 年 4 月 1 日をもって新日鐵住金株式会社から日本製鉄株式会社への商号変更が発表され、和歌山労組は「新日鐵住金和歌山労働組合」から「日本製鉄和歌山労働組合」へ名称変更をすることとなりました。

本日、「日本製鉄和歌山労働組合」への名称変更に伴い、山本組合長の挨拶を以下に掲載します。

ご安全に。


【山本組合長】

組合員の皆様におかれましては、常日頃より労働組合の様々な活動に対し、絶大なるご理解とご協力を賜っており、心から御礼申し上げます。

また、職場における安全衛生の確保や安定操業ならびに設備保全の強化、品質管理や物流部門の適正化など、持ち場・立場で多岐に亘る業務に邁進頂いている点につきましても感謝を申し上げる次第であります。

さて、新日鐵住金和歌山労働組合は、本日 4 月 1 日をもちまして「日本製鉄和歌山労働組合」へと名称変更致しました。

このことは、会社から昨年の 5 月 16 日に、未来に向かい世界で成長を続ける日本発祥の企業に相応しいより包摂的で新たな商号として、2019 年 4 月に新日鐵住金株式会社から日本製鉄株式会社へ商号を変更することが発表され、我々の上部団体である新日鐵住金労働組合連合会においても、本日「日本製鉄労働組合連合会」へと名称変更されることに伴うものであります。

振り返りますと、2012 年 10 月 1 日に新日鐵住金が発足し、和歌山製鐵所も「総合力№1の製鉄所」を目標に掲げて新たなスタートを切り、2014 年 4 月には旧堺製鐵所との統合を経て、銑鋼一貫製鉄所として更なる役割と責任を果たして参りました。

和歌山労組もこの間、旧堺労組との組織統合を成功させ、車の両輪の如く「緊張と信頼の労使関係」を礎に、今日まで職場組合員の幸せを追求する運動を展開してきたところです。

このような変遷を遂げてきた中、本日以降「日本製鉄和歌山労働組合」として、鉄鋼労働運動の継承ならびに飛躍を遂げるべく、組合員の皆様とともに更なる心合わせを願うばかりであります。

足もとでは、すでに戦いの火蓋が切られた統一地方選挙の前半戦において、我々が推薦している立候補者全員の勝利に向けて惜しみないご協力を賜わっており頭の下がる思いで一杯であります。どうか最後の最後までご支援の輪をお願い致します。

また、65 歳現役社会の実現に向けて中央で交渉が継続されている「労使懇話会」については、労働組合が主張してきた 65 歳一律定年延長をめざすべく、今後も具体的な課題を含め、新制度の構築に向けて更なる議論が展開されますので、和歌山労組としましても各支部と連携を図りながら参画して参ります。

さらに、今任期も残り 5 か月となり、9 月からの次任期に向けた役員体制や運動方針ならびに予算編成など、労働組合の根幹部分について早急に構築しなければならず、この点につきましても各支部長とご相談をさせて頂きながら進めていく所存です。

いずれにしましても、労働組合の最優先課題は、「安全と健康」であります。足元では不休・軽処置災害に歯止めがかからない状態であることから、組合員の皆様におかれましては「安全三原則」「全社共通遵守事項」の再徹底をお願いします。労働組合としましても労使・直協でしっかりと連携を図り、構内で働く皆様が「元気に出勤、笑顔で帰宅」出来るよう様々な取組みを展開して参りますので、引き続きのご理解とご協力をお願いします。

ご安全に。

2019 年度第 7 回中央委員会報告

【日時】3 月月 28 日（木）
17 時 15 分～18 時 30 分
【出欠】出席 76 人　委任 9 人　欠席 8 人
【議長】田廣氏

Ⅰ　報告事項

1. 上部団体会議報告
   - 第 31 回中央執行委員会
   - 第 32 回中央執行委員会
   - 第 33 回中央執行委員会
   - 中央労使協議報告
2. 箇所労使協議報告
   - 2019 年度第 1 四半期生産計画について
   - 4 月度生産計画について
   - 2019 年度 1／四期要人員計画について
   - 2019 年 4 月 1 日付組織改正について
   - 2019 年 4 月 1 日付組織改正について
   - 日鉄住金テックスエンジ㈱への教育出向について
   - 健康で効率的かつクリエイティブな働き方の実現に向けて
   - 2019 年度時間外及び休日労働に関する協定について
   - 第 19 回統一地方選挙に係る会社施設内における活動に関する取扱いについての確認文書および同細部取扱いについて
   - エリア技能職社員の海外業務支援について
   - 鋼管部冷間製管工場への応援派遣について
3. 支部役員安全研修会報告
4. 2019 年 4 月 1 日付組織改正に伴う各支部の取扱いについて
5. 4 月度日程について

Ⅱ　審議事項

1. 「健康で効率的かつクリエイティブな働き方実現に向けて」への対処方針に関する件（案）
2. 「第 90 回メーデー」への対応に関する件（案）
3. 2019 年度 1／四期合理化案件への対処方針に関する件（案）
4. 基幹労連「第 8 回アジア産業・労働セミナー」への対応に関する件（案）

中央委員会の議事内容（抜粋）を紹介します。

◆箇所労使協議報告

・健康で効率的かつクリエイティブな働き方の実現に向けて【要旨】

1．年次有給休暇の一部改訂

（1）年次有給休暇の時季指定

年次有給休暇が法定 10 日以上付与された者に対しては、付与日から 1 年以内に、付与日数の範囲内で 5 日について、会社が本人の意見を聴取し、その意見を尊重した上で、あらかじめ時季を指定して取得させる。

（2）年次有給休暇の分割取得

半日年次有給休暇の取得について、付与日数の範囲内で、当該年度につき 40 回を限度とする。

2．福祉休暇の一部改訂

私症欠勤の場合で診断書等の提出により証明したときは、1 日単位での取得を可能とする。

3．フレックスコアタイムの配置柔軟化

所内常昼職場の完全フレックス化を実行すること、また、現行当所では、フレックスコアタイムを 10 時から 15 時としているが、従来以上により柔軟で効率的な働き方を志向する観点から、2019 年 4 月 1 日より、原則 11 時から 14 時へ変更する。また、コアレス化も試行実施する。

4．テレワークの拡充

現行、3 才に満たない子を養育する社員に関する勤務措置として、月 2 回までの範囲で認めている「在宅勤務制度」について、これを廃止し、適用対象者（フレックスタイム制適用者または育児・介護のための短時間勤務措置適用者で、上司および人事部門が業務内容に鑑み事前に認めた者)、適用日数などを拡大し、「テレワーク制度」を設ける。なお、試行に向けた具体案を検討し、詳細が決定次第、別途、話し合いの場を持つ。

（組　合）

ただ今、会社より和歌山製鐵所における現状の働き方が抱える課題とそれらを踏まえた「健康で効率的かつクリエイティブな働き方」に関連する諸制度の改訂について提案を受けた。

内容は、労働基準法の改訂や業務の効率化を図るものと認識するが、いずれにしても、本日は説明を受けたばかりであることから、本内容についてよく精査した上で改めて話し合いの場を持つこととしたい。

◆支部役員安全研修会報告

1．日　時　2019 年 3 月 8 日（金）
13 時 30 分～17 時 50 分

2．場　所　新日鐵住金和歌山労働組合　組合会館

3．参加者　各支部安全担当中央委員　22 人
執行部　4 人
合計 26 人

4．研修内容

（1）開会挨拶（谷路安全統轄）

（2）2019 年度安全取組みについて
（岡﨑労働対策部長）

（3）安全講話（辰己安全健康室長）

①全社及び和歌山製鐵所の安全管理状況について

・全社及び和歌山製鐵所の安全成績について

・和歌山製鐵所の安全管理体制及び過去の災害事例

②和歌山製鐵所の 2018 年及び 2019 年の安全活動について

・和歌山製鐵所の安全衛生活動
（ゼロ災〇秀活動、ＫＹ（危険予知）の深化、安全専門委員会、安全衛生活動方針）

（4）グループ討議

・類似災害防止に向けて

・全社共通遵守事項の周知と遵守徹底について

・具体的な KY と中間 KY の実践について上記 3 点について、4 班に分かれてグループ討論を実施後、組合（支部）としての安全活動はどうあるべきか、意見交換を行った。

5．まとめ

今回の研修では、安全健康室長より全社及び和歌山製鐵所の安全成績や安全衛生活動についての講演があり、災害発生の原因の分析の結果の一つとして、ルール違反を認識しているにもかかわらず行った危険行動による休業災害の内、4 割もの確率で死亡に至っていることなど、改めてルール遵守の徹底が重要であるということを再認識することができた。

また、グループ討議においては今後の安全活動について、若手層への教育の充実化や支部間の交流を労使共催で行うこと、職場の欠員により安全面への影響が出ていないかなど支部として職場実態や意見を踏まえたうえで、チェックとフォローを行っていくことで安全レベルの向上が図られるとの結論に達した。

今後は、グループ討議で挙げられた各支部での取組みを参考に今後の安全活動に生かすとともに、労使一体となった安全活動に取組み「無災害製鉄所」の確立をめざしていくこととする。

◆「第 90 回メーデー」への対応に関する件（案）

1．和歌山地区

(1) 日　時　2019年4月27日（土）9時00分～13時30分

(2) 場　所　和歌山城「砂の丸広場」

(3) 規　模　6，000 人

(4) 主　催　連合和歌山（和歌山・海南海草地域協議会を含む）

共　催　和歌山県平和フォーラム

後　援　和歌山県労福協・和歌山市労福協・海南地域労福協・労働金庫・全労済

(5) 内　容

①第1部　デ モ 行 進　9：00～10：00

②第2部　中 央 式 典 10：00～11：00

③第3部　イベント行事 11：00～13：30

(6) イベント行事プログラム

時　間	メインステージ
11:00～	催し
11:30～	プラカードコンテスト
11:50～	表彰
12:50～	キャラクターショー
13:30～	福引抽選会
	閉会

テント等
チャリティバザー
模擬店
ミニいちごトレイン
移動動物園
献血

(7) 動員費の支給について

「中央式典」終了後、各支部動員名簿に基づき、￥2，000／人を当日支給する。

(8) 福引抽選　抽選券は受付で配布されるので、各人で対応のこと。

(9) 参加注意事項

①デモに参加する方（支部 2 名）は、和歌山城内表坂登り口付近へ 8 時 45 分までに集合すること。

（デモに参加しない方は、和歌山城「砂の丸広場」へ集合）

②周辺駐車場の混雑が予想されるので、公共交通機関を利用し参加のこと。

③お子さんにお菓子を配布するので、執行部より受け取り方。

(10) 雨 天 時

基本的に雨天決行とし、その場合は長靴・レインコート等の雨対策をお願いする。但し、警報発生時は連合和歌山事務局が判断し、前日に執行部より支部長へ連絡する。

(11) 名簿締切　4 月 12 日（金）

労働組合稲垣まで。

2．堺地区

(1) 日　時　2019 年 4 月 27 日（土）

8 時 30 分～10 時 30 分

(2) 場　所　ハーベストの丘

(3) 内　容　式典・福引抽選会

(4) 動員費の支給について

各支部動員名簿に基づき、支部長経由で￥2，000／人を当日支給する。

(5) 参加注意事項

①入場にはチケットが必要の為、ご家族も含め各支部必要枚数を事前に連絡の事。（4 歳以上はチケットが必要）

②小学生以下のお子さんには、先着 250 名にお菓子のプレゼント。

③駐車場の混雑が予想されるので、公共交通機関を利用し参加のこと。

④当日は泉ヶ丘駅から無料送迎バスが運行する。（帰りは有料）

(6) 雨 天 時

基本的に決行とするが、雨天決行時は長靴・レインコート等の雨対策をお願いする。但し、警報発生時は連合大阪堺地区事務局が判断し、前日に執行部より支部長へ連絡する。

(7) 名簿締切　4 月 12 日（金）

労働組合稲垣まで。

中央委員会の資料は組合ホームページに掲載していますので、詳細につきましてはそちらをご覧ください。

組合ＨＰ　ＱＲコード